

よしおか

議会だより



群馬県吉岡町議会

No.126

2020.1.17



12月定例会

第4回定例会	令和元年度 一般会計補正予算	2
委員会審査	私たちが慎重にチェック	6
一般質問	7人が町政を問う	8

太陽と空の贈り物「小倉乾燥芋」
(説明17ページ)

吉岡町議会

検索



第4回 定例会

幅補正 工期遅れか

歳入歳出それぞれ1億1488万円を追加しました。駒小体育館の改築・道路の補修や改良を進めるほか、計画の見直しや新規事業も行います。

令和元年度第4回定例会は、12月2日から9日まで、8日間の会期で行いました。令和元年度補正予算など議案25件が提案され、いずれも原案通り可決しました。

吉中校舎増築工事 (363万円)

増額

増築工事に伴い、新たに既存配管の切り回し工事が発生したことによるもの。



順調に工事が進んでいる

駒小体育館新築工事 (1991万円)

増額

基礎くいなどの設計変更によるもの。増額により新たに1490万円の借入れを行います。



工期内での完成を望む

子育て世代包括 支援センター開設準備 (427万円)

新規

令和2年度の保健センター内での開設に伴う、レイアウト変更や各種備品などに要する経費。



切れ目のない子育て支援を

道の駅よしおか温泉 駐車場整備工事 (400万円)

増額

大型車・バスなどが駐車できるように、駒寄ライスセンター跡地を舗装するもの。



利便性向上で、東の玄関口の魅力アップを

令和元年度 一般会計補正予算 駒小体育館新築工事に大

主な歳入の補正

【新規・増額】

消費税増税による保育園・幼稚園の無償化などに伴う増額分 …… 3330万円
財政調整基金繰入金 …… 5010万円
町債 …… 1760万円

ここにも注目（歳出）

【新規】

○明小昇降車 …… 155万円
明小に、車椅子に乗ったままで階段を昇降する階段用リフトを購入
○豚コレラ侵入防止緊急支援事業補助金 …… 300万円

【増額】

○船尾滝周辺整備関係 …… 100万円
○施設型給付費 …… 5618万円
園児数の増による公費負担金の増額
○機構改革に伴う電算機器設定変更・機器交換など …… 934万円
○道路の維持補修関係 …… 505万円

補正予算の委員会審査
→6ページ

討 論

本会議で、議題に対する自身の賛否の意思を表明し、他の議員の賛同を求めることができます。

駒小体育館では、補正予算の議決を経ずに基礎くいの変更工事が行われています。これは「後追い議決」となります。町が議会に提案し、議会で議決されることによって執行されるのが本来のあり方。これが崩れると議会不要論へとつながります。また、工事は卒業式・入学式に間に合わせることが大前提。しかし、工期に間に合わないのではといった問題が出ています。このまま進めていくと議会の存在意義が問われます。皆様の常識のある判断・同意をお願いし反対します。



こいけ はるお
小池 春雄 議員

反 対



むらこし てつお
村越 哲夫 議員

組織機構改革に伴う庁舎改修工事・器具購入。児童数増による施設型給付費の増額。子育て世代包括支援センター開設準備のための保健センター改修工事。道の駅よしおか温泉駐車場整備工事と、豚コレラ侵入防止緊急支援事業補助金の交付。これらが主な歳出となりますが、いずれも緊急性・必要性の高い重要な事業となっています。

以上の理由から、今回の補正予算に賛成します。

賛



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員

本会議と総務産業常任委員会で予算内容の説明と質疑により、その内容が行政執行のため適切であると判断できます。また、駒小体育館新築工事については、旧体育館解体後の跡地に、設計図にない長大なくいの存在が判明。そのくいの撤去と地質調査の結果、新たに長大なくいが必要になりました。このくいの撤去から長大なくいの打ち込みまでの一連の工事が、工事費増大の原因です。避けられなかった事象が発生したのだと思います。

町民・児童・生徒のために、今回の補正予算が計画どおり執行できることを期待し賛成します。

成

手話言語条例を可決

全ての町民が共に生きる地域社会の実現へ向けて

提案理由

手話に関する基本理念を条例で定め、町民の手話への理解と普及を図るため。

条文（一部抜粋）

（目的）

第1条 この条例は、手話が言語であるとの認識に基づき、手話に関する基本理念を定め、町の責務並びに町民及び事業者の役割等を明らかにすることにより、町民の手話への理解及び手話の普及の促進を図るとともに、手話の使いやすい環境を構築することで、全ての町民が共に生きる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

（基本理念）

第2条 ろう者とうろう者以外の者が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生することを基本として、ろう者の意思疎通を行う権利を尊重し、手話の普及を図るものとする。（全12条）

本会議質疑

問 第6条に、事業者はろう者が働きやすい環境の整備などに努めるとあるが、事業者への周知は。

答 ホームページや広報などへ掲載、商工会を通じてチラシなどの配布、商工会未加入の事業所については検討中。

問 第8条に町民が手話を学ぶ機会の確保、第9条に学校教育における手話の理解と普及とあるが、具体的な実施は。

答 町民には、社会福祉協議会に委託して講座を実施。今後は参加者増を考えたい。また学校では、各校とも年2回の学習を実施。今後も継続予定。

問 県の条例と比べて簡略し過ぎているか。

答 まずは手話に関する基本理念を条例で定め、細部については今後、検討協議したい。

問 パブリックコメントについて、今回の件数と検討期間は。

答 今回は0件。意見があれば11月中旬から半月ほどの検討期間があった。

問 第10条で、災害時において、ろう者に情報の取得や支援に必要な措置を講ずるよう努めるとあるが、具体的には。

答 この条例をもとにこれから進める。

問 第11条で、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるとあるが、令和2年度の予算には何か考えているか。

答 可決後に担当課と協議。

賛成討論

この条例はろう者の皆様の人権を尊重し、日常生活や社会生活を安心して送れることを目指しており、制定されることは全ての関係者の悲願です。関係各位の協力により、ようやくここまで来ることができました。この条例の制定によって聴覚障害者のみならず全ての障害者が、差別なく自由に暮らせる世の中、互いに共存共栄ができる社会になることを望みます。

全議員の賛同を願い、賛成します。



いわさきのぶゆき
岩崎 信幸 議員



社会福祉協議会で行われている手話講座

「吉岡町ろう者の会」



さいとう まさつぐ
佐藤 政次さん
(上野田)

手話言語条例が可決されましたこと、尽力をいただき感謝申し上げます。これからは手話を広げるため、皆と一緒に頑張りたいと思います。

令和2年度に向けた 条例などの整備

組織機構改革に伴う関係
条例の整備に関する条例

令和2年度に向けて

平成19年4月の機構改
革以来の、役場全体に
わたる機構改革を実施
します。吉岡町を含め

自治体を取り巻く現状
と、今後を見据えたな
かでの再編です。町長
部局の課は6から9課
に再編。室制度は18室
から20室に再編、組織
体制の強化を目的に、
係制を設け42係を想定

問 新体制の中、今後
の業務のあり方と
自分の立場に対する意
識を植え付ける策は。

答 余念なきよう準備
を進める。

※1 会計年度任用職員の
勤務時間、休暇等に関
する条例

地方公務員法と地方自

治法の改正に伴い、規定
の整備をするものです。

一般職の任期付職員の
採用及び給与の特例に
関する条例

専門的な知識経験を
有する人を期間を限つ
て、職員として採用す
ることができるとする
ものです。



4月の組織機構改革により9課に再編される

関連記事↓6ページ

問 現在、該当する職
員はいるのか、ま
た、想定される職種は。

答 該当する職員はい
ない。制度的には、
大規模災害が発生し、
職員が欠けた場合と、
IT関連の業務や資格
が必要な職種などを想
定している。

地区計画区域内におけ
る建築物の制限に関す
る条例

現在、駒寄スマート
IC東側で進めていた、
用途地域の指定に合わ
せて地区計画を定める
ものです。建築基準法
に基づき地域内の建物
の制限を定めることで、
健全な都市機能と都市
環境を確保します。

下水道事業の設置等に
関する条例

公共下水道事業およ
び農業集落排水事業に、
※2 地方公営企業法の財
務規定などを適用する
ものです。

三三解説

※1 会計年度任用職員

臨時・非常勤職員制度の抜本的な
見直しが行われ、適正な任用・勤
務条件などを確保するための新制
度で1年度ごとに任用するもの。

※2 地方公営企業法の財務規定
などの適用

下水道事業で健全性・透明性の向
上を図るため、下水道事業と同じ
企業会計に移行する。

12月議会 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会 計 名			補 正 額	補正後の予算額
一般会計			1 億 1 4 8 8 万円	8 1 億 9 2 3 0 万円
特別会計	公共下水道事業		5 1 万円	4 億 9 7 5 7 万円
	国民健康保険事業		3 万円	1 8 億 3 6 6 4 万円
	農業集落排水事業		1 0 万円	1 億 8 7 2 5 万円
	介護保険事業		△ 1 1 0 万円	1 4 億 8 8 6 9 万円
	後期高齢者医療事業		1 4 1 7 万円	2 億 4 6 0 万円
企業会計	水道事業	収益的収支	3 9 万円	4 億 1 1 1 0 万円
		資本的収支	△ 2 5 万円	2 億 6 4 7 0 万円

総務産業常任委員会

児童保育・組織機構改革など増額

議案21件について審査しました。

一般会計補正予算

問 児童保育費増額の
内容は。

答 対象者数増による
施設型給付費の増
額。

問 組織機構改革に伴
う補正予算の内容
は。

答 庁舎執務室の改修、
電話・PC・Jア
ラート・防災システ
ムなどの移設・改修費用。
農業振興費増額の
内容は。

問 物産館空調改修、
駐車場・駐輪場の
舗装と整備。

答 畜産振興費の内容
は。

問 豚コレラ予防のた
め、害獣侵入防止
の柵建設支援費。

答 道路維持補修工
事の内容は。

問 降雨被害への対応
など道路維持管理



園児増により給付費が増加している

の補修工事。

地区計画区域内における
建築物の制限に関する条例

問 条例の目的と内容
は。

答 町都市計画に基づ
き、建物の機能的
な集合を図るため。

問 駒寄スマートIC東
周辺および吉岡バイパ
ス沿線地域内の用途を
定める。

組織機構改革に伴う関係
条例の整備に関する条例

問 改革に伴い、男女
共同参画を具現化
する方策は。

答 主管を住民課と
し、多岐にわたる
内容を各課と連携し
て、目的の達成を考え
ている。

問 新設の産業観光課
の業務に、商工労
働について明記した目
的は。

答 各種産業に働く人
の環境改善を行
い、産業発展に資する
こと。また、地域の雇
用創出を進め、人口の
定着化を図る。

会計年度任用職員の給与
及び費用弁償に関する条例

問 会計年度任用職員
の処遇は。

答 会計年度任用職員
には、フルタイム
とパートがある。賃金
は、それぞれ給料と報
酬になり、常勤職員と
同じ給料表に基づき支
給され、職種や経験な
ども考慮される。ま
た、期末手当も支給さ
れる。

文教厚生常任委員会

手話言語条例の理解と普及は

議案4件について審
査しました。また、委
員会からの要望書を提
出しました。

答 小中学校では、総
合的な学習の時間
の中で体験授業を実
施。

手話言語条例

問 町民が手話を学ぶ
機会をどのように
設けるか。

答 社会福祉協議会に
委託した手話奉仕
員養成講座があり、初
めて学ぶ人を対象に入
門編と、さらに発展し
た基礎編で学ぶ。昨年
度11人、本年度6人が
修了した。

問 学校教育における
普及は。

答 保険料の個人負担
分が1割から2割
に増えたため。

介護保険事業 特別会計補正予算

問 一般会計繰入金の
算定基準は。

答 国が20%、県が12・
5%、町が12・5%、
調整交付金として国か
ら5%が交付される。

後期高齢者医療事業 特別会計補正予算

問 歳入で普通徴収保
険料が1628万
円増の要因は。

答 保険料の個人負担
分が1割から2割
に増えたため。

文教厚生常任委員会からの要望書(要約)

- 1 駒小体育館の工期内完成
- 2 高齢者及び障害者の交通手段の確保と改善
- 3 保育園・学童保育の待機児童の解消
- 4 学童保育の時間拡充
- 5 生徒・児童に対する就学援助の周知と拡充

賛否一覽

議案番号	議員名 議案名	結果			小林	富岡	飯塚	廣嶋	富岡	金谷	村越	坂田	飯島	岩崎	平形	小池	山畑
		賛成	反対	議決結果	静弥	栄一	憲治	隆	大志	康弘	哲夫	一広	衛	信幸	薫	春雄	祐男
議案第78号	手話言語条例…4・6ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第65号	組織機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例…5・6ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第66号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例…成年被後見人等の欠格条項の削除など	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第67号	職員等の旅費に関する条例の一部改正…成年被後見人等の関係法律の整備に伴う項ずれなど	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第68号	職員の給与に関する条例の一部改正…給与改定、期末手当の引き上げなど	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第69号	特別職の職員の給与及び旅費支給条例の一部改正…期末手当の引き上げ、旅費支給の鉄道賃の見直しなど	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第70号	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正…期末手当の引き上げ、旅費支給の鉄道賃の見直しなど	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第71号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例…6ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第72号	会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例…5ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第73号	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例…5ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第74号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正…仕事と家庭の両立支援のため、育児・介護を行う職員の早出遅出勤務に関する規定の整備など	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第75号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正…議案第71号・第73号の制定に伴う所要の改正	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第76号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正…公務執行中以外でも、明らかな過失がない事故の場合などは、失職させないことができることとするもの	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第77号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例…地方公務員法等関係法令の改正に伴う文言の改正など	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第79号	地区計画区域内における建築物の制限に関する条例…5・6ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第80号	特定用途制限地域における建築物の制限に関する条例…都市計画法に基づく特定用途制限地域の決定にあたり、建築物の制限を定めるため	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第81号	下水道事業の設置等に関する条例…5ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第82号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議…事務組合による事務の共同処理を行う組織団体を追加するため	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第83号	令和元年度一般会計補正予算…2・3・5・6ページ参照	10	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—
議案第84号	令和元年度公共下水道事業特別会計補正予算…5ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第85号	令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算…5ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第86号	令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算…5ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第87号	令和元年度介護保険事業特別会計補正予算…5・6ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第88号	令和元年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算…5・6ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第89号	令和元年度水道事業会計補正予算…5ページ参照	12	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥
議長は採決に加わっていないため「—」で表示

一般質問

議員 7 人

町政を問う

一般質問は、執行機関が提出した議案と関係なく、町の行政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し、見解を求めるものです。

吉岡町では、質問および答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

本会議の様子を生中継、
録画でも配信。



アクセス方法は

吉岡町議会

検索

■小林 静弥 議員（9ページ）

1. 台風19号関連について
2. 防犯関連について
3. 学校教育現場関連について
4. 成人式について

■岩崎 信幸 議員（10ページ）

1. 教育行政を問う
2. 防災対策について
3. スポーツ全般の施策を問う

■廣嶋 隆 議員（11ページ）

1. 福祉避難所について
2. 指定避難所について
3. 八幡山グラウンドの拡張事業について
4. 林道栗籠・井堤線について

■金谷 康弘 議員（12ページ）

1. 渇水対策施設関連
2. 文化財保護事業関連
3. 防災関連
4. 都市計画関連
5. デ・レイケ堰堤関連

■飯塚 憲治 議員（13ページ）

1. 駒小から町民グラウンド付近一帯における雨水排水の対策、その後は
2. 町道、河川における危険箇所の改善と町道改良の方針は
3. 公園の設備計画は

■飯島 衛 議員（14ページ）

1. 災害時の対応について
2. 学校のICT化について
3. 児童館の老朽化対策は
4. デ・レイケ堰堤の観光資源としての活用を

■小池 春雄 議員（15ページ）

1. 選挙公約の実現
2. 子育て支援
3. 高齢者対策



こばやし しずや
小林 静弥 議員



録画映像は
こちらをCHECK

台風19号で 得た課題は

問 台風19号を振り返ってみて、得られた教訓や課題は。

答 町民生活課長 職員一人一人が、災害に対する意識や備えを十分持ち、自治会や住民へ防災・減災を周知する。また、来年度見直し予定の地域防災計画で、今回の反省点や意見などを踏まえない。

答「地域防災計画」に活かしたい

問 台風19号での避難状況と問題点は。

答 町民生活課長 10月12日にコミュニティセンター・老人福祉センター・社会体育館で合計17世帯45人が避難。社会体育館で、避難所の開設準備に苦慮との話があり、今後につなげたい。



避難所として見直しが望まれる（社会体育館）

問 友好自治体を増やすという考えは。

答 町長 近隣だけでなく友好関係を築くことは、とても重要であり、増やしていきたい。

問 「振り込め詐欺の電話に注意」の放送が続いているが。

答 町民生活課長 吉岡町で発生すると渋川警察署から依頼があり、住民に注意喚起

の放送を行っている。

問 防犯灯・防犯カメラの設置状況は。

答 町民生活課長 防犯灯は1110基を設置。全てLED化されている。防犯カメラは44台を設置。さらに4台を予定。

問 学校の防犯カメラは。

答 教育委員会事務局 長 明小に11台、

問 現在進められている駒小体育館新築工事の進捗状況と問題点は。

答 教育委員会事務局 長 くいの長さと基礎の見直しなどにより、工事が遅れている。本年度卒業式、来年度入学式が新体育館で行えない可能性が生じ、吉岡町文化センターを会場として検討を進める。

駒小に7台、吉中に11台。職員室でモニターングや録画が可能。必ず。

駒小体育館新築工事の進捗状況は

答 工期変更の調整が必要

問 現在進められている駒小体育館新築工事の進捗状況と問題点は。

答 教育委員会事務局 長 くいの長さと基礎の見直しなどにより、工事が遅れている。本年度卒業式、来年度入学式が新体育館で行えない可能性が生じ、吉岡町文化センターを会場として検討を進める。

問 成人式に関して、町長と新成人達が直接話を交えるような機会をつくるのは。

答 町長 貴重な意見として預りたい。アンケートでは、町内に戻ってきた若者が6割弱とのことだが。

問 総務政策課長「地域を誇りに思い、魅力を発信する町づくり」の一つの結果であり、大変喜ばしい。

答 教育委員会事務局 長 10月末にお知

問 卒業式、入学式に間に合わないならば、児童や保護者に対して納得が得られる説明が必要と思うが。

答 教育委員会事務局 長 10月末にお知



いわざき のぶゆき
岩崎 信幸 議員



録画映像は
こちらをCHECK

教育委員会として、学校との対応は

問 教育委員会として、学校側とどのように向き合うか。

答 教育長 本年度発足した、地域住民の代表・PTA・行政の代表・学校管理職からなる「学校運営協議会」と協力し、対応する。

問 教育長として、教育に対する考えは。

答 教育長 教員と共に、地域の人々の

問 生徒が生き生きと活躍できる、理想的な部活動の在り方は。

答 教育長 教員と共に、地域の人々の

答 教育長 多様な課題や困難を生き抜く子どもたちを育て、学んでいると直感できる教育を当たり前に行える学校を目標とする。

「吉岡町学校運営協議会」と協力

協力と、社会教育団体などと連携して運営するのが理想。

問 「総合教育会議」での議題と取り組みは。

答 教育委員会事務局 長 本年度の総合教育会議は、10月に開催。吉岡町教育大綱の各基本方針に係る令和元年度の主要事業につ

いての報告、教職員の多忙化解消に向けた取り組みについて説明し、それぞれ意見交換を実施。

問 学校の防災対策は万全か。

答 教育委員会事務局 長 町の防災行政無線による避難訓練を実施。災害への対応を関係者間で共有した。

11月10日に行われた消防防災総合訓練



11月10日に行われた消防防災総合訓練

防災士の育成と補助での支援を

答 自主防災組織を支えて頂くよう周知支援

問 防災士の育成と補助での支援を求む。

答 町民生活課長 自主防災組織を支えて頂くよう周知支援する。

問 応急修理費支援の制度づくりを。

答 町民生活課長 県が3分の2、市町村が3分の1を負担する支援制度で対応する。

問 罹災証明書の判断区分は明確か。職員の配置は適切か。

答 財務課長 国の基準や指針を踏まえ人員を確保し、発行事務を円滑に行う。

問 「災害廃棄物処理計画」への対応は。町民生活課長 未

策定である。県や

渋川広域とで検討する。

問 ドローンを活用し、防災・防犯を。

答 町民生活課長 協定を結んだ、ぐんま安全教育センターと協議。

問 障害者スポーツの現状と施策は。

答 町長 令和2年1月19日に、吉中体育館で県主催の障害者スポーツフェスタが開催され、ボッチャなど多種の競技が行われる。

問 スポーツ大会の開催と全般の施策は。

答 町長 スポーツ協会主催の事業と、各専門部での行事や大会で推進していく。

10



ひろしま
廣嶋
たかし
隆 議員



録画映像は
こちらをCHECK

福祉避難所の 運営マニュアル の有無は

【答】 来年度地域 防災計画で 策定

問 高齢者や障害者ら
災害弱者を受け入
れる福祉避難所の運営
マニュアルの有無は。

答 町長 現在運営マ
ニュアルはない。

来年度見直しする地
域防災計画の中で策
定。

問 福祉避難所の対象
者の把握と、利用
可能な施設の検討は。

答 健康福祉課長 現
在、具体的な数字
はない。要支援者名簿
や町内介護施設などの
人数を考え合わせ策定。

答 町民生活課長 保
健センター以外
に、老人福祉センタ
ーを考えている。

問 福祉避難所に関す
る情報の周知徹底
は。

答 町民生活課長 福
祉避難所の在り方
などを、理解してい
たき、災害時に混乱
しないよう住民に周
知したい。

問 6月議会の答弁で
は指定避難所5カ
所の収容人数は1万7
00人だった。残り5

カ所について、収容
人数は。

答 町長 役場をは
じめ、コミュニテ
ィセンター・文化セ
ンターは災害対策本
部を設置し、社会体
育館は救援物資広
域集積所の利用を
予定。

今後、地域防災計
画の見直しで収容
人数を示したい。

令和2年度完成を
目指して工事中（林
道栗籠・井堤線）



令和2年度完成を
目指して工事中（林
道栗籠・井堤線）

八幡山グラウンド 拡張への考えは

【答】 来年度総合計画 の中で検討

問 八幡山グラウンド
拡張工事について、
町長は今後のよう
に推し進めるのか。

答 町長 見直した
ら、今の八幡山グ
ラウンドが担ってい
る吉中のサブグラ
ウンドの役割や、多
目的屋外運動場と
の位置づけなど、
来年度策定予定の
吉岡町総合計画で、
公園計画やグラウ
ンドの整備にかか
る方向性を取りま
とめていく中で、改
めて検討したい。

問 林道栗籠・井堤
線について、自害
沢9号堰堤の発見
や、滝の沢川近く
で残土の埋め立て
が、工事に影響が
あるのか。

答 町長 自害沢9
号堰堤の発掘調査
が

手際よく終わった
ので、工事への支
障はわずか。現
段階では進捗状
況に大きな影
響はない。

答 産業建設課長
 自害沢9号堰堤
が発見されたこと
により設計変更
を行ったが、大
きな工期延期は
ない。また、残
土の埋め立ても
影響はない。令
和2年度を完成
予定にしてい
るが、町道部分
については、滝
の沢川の「※洗
い越し」の占用
許可が県土木事
務所から回答を
得ていない。時
期を見て、回答
を得たい。

ミニ解説

※洗い越し
川に橋を架けず
に、道路と川が
平面交差してい
る構造のこと。



かなや やすひろ
金谷 康弘 議員



録画映像は
こちらをCHECK

いいのか渇水 対策基金枯渇

答 一般会計財源で 対応しかない

問

上越新幹線様名トンネルの井戸枯れ補償の渇水対策施設は、基金と水道会計からの600万円で補填している。基金の原資の約5億円は、現在8600万円で、あと4・5年で枯渇するが、一般会計からの持ち出しとなるのか。

答

町長 安定的な農業用水や水道水を供給する必要がある。一般会計の財源で対応していくしかない。

問

現在、渇水対策施設の水の運用方法は。

答

産業建設課長 農業用水で群馬用水・明治用水ともに利

用している。また、水道水の自己水源として活用。雑用水として小倉ブドウ園でも利用。

問

渇水対策施設の維持管理費は年間数千万円。財源確保のために、豊富できれいな水の利用は。

答

産業建設課長 過去に小水力発電とペットボトル飲料で、財源確保を検討したが、事業化に至っていない。

問

町の人口は、平成元年1万3千人で30年は2万1千人の約1・6倍増。町税は8億4700万円から25億5千万円で約3倍の増。扶助費は2億1千万円から18億6千万円の約8倍増。渇水対策施設維持管理の財源確保を。

答

産業建設課長 維持管理の方法、施設のあり方や、長寿命化計画についても、関

係機関と協議・検討。森田家住宅が町指定重要文化財になったが、防火対策は。

問

町長 個人の所有者の防火管理。町は、消防署などからの指導を伝達。消火栓の場所の確認など所有者と行っている。

問

消防防災総合訓練に、災害対策本部長として参加した町長の所感は。

答

町長 初めての町全体の訓練で、反省点も多くあるが、訓練を重ねることと実際の災害に対応し得る体制ができるようになる。

問

都市計画マスタープランには2つの核として駒寄スマートICとJR新駅がある。新駅についての町長の見解は。

答

町長 さまざまな視点から検討したい。

自害沢9号堰堤文化財報告書の追記を

問

新駅は進めるのか、進めないのか。

答

町長 公共交通の要。必要性を感じる。

追加記入を対応

問

デ・レイケ自害沢9号堰堤は発掘調査で全貌が確認された。町の文化財調査報告書第3集遺跡詳細分布調査報告書への追加

答

記入を。教育委員会事務局長 町の図書館に收藏されている資料については、追加記入をしたい。



全貌が現れたデ・レイケ自害沢9号堰堤



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

駒寄地域の 雨水排水の 解決策は

答 地区全体の 排水計画を 調査・検討

問 上越線西側方面、駒寄地域の根本的排水改善策は。

答 産業建設課長 地域集水量の調査後、効果的な排水計画を立案し、駒寄地区全体の排水計画を検討する。

問 雨水による道路冠水と路肩流失の、根本原因と対策は。

答 産業建設課長 側溝ふたの※グレーチング化を実施。根本対策は道路下の排水パイプと考える。J Rとも協議し、改善策を検討する。

問 遊水池化した町民グラウンド。北側側溝の拡幅改善策は。

答 教育長 教育委員会としては、町民グラウンドには、雨水などが入らないよう、お願いをしたい。

答 産業建設課長 北側側溝の流れはJ R線路側溝に入るため、必要となるJ Rとの協議を行い検討する。

問 町民グラウンドの北、長坂踏切付近の雨水排水の、現状と今後の対応策は。

答 産業建設課長 過去に対策した箇所だが、その後の気象などの状況変化に、対応

しきれていない面が見受けられる。再確認して対策を講じる。

問 災害対応設備などの、事前機能確認の点検計画と進捗状況は。

答 町民生活課長 点検作業は進んでいない。県内では台風のため、警戒区域外での災害発生もあり、見直しは必要。今後、国や県の災害区域見直しと併せて、設備点検し、災害ハザードマップも整備する。

自治会からの危険箇所情報の取り扱い

答 公共施設の整備・改善の参考にしていく

問 町道・河川などの危険箇所、改善整備は。

答 町長 各自治会から寄せられた情報は防災訓練用だが、道路や公共施設などの整備・改善に活用できる部分は参考にする。

問 台風19号で、駒寄川下流域の越水の危険。自主避難など発生。これらに即応した護岸整備対策は。

答 産業建設課長 担当者が現地確認をしている。早急に県土土木事務所に、護岸の整備などを要望する。

問 駒小の西側、危険通学路の危険解消策は。

答 産業建設課長 該当地は改善の要望があり、検討はしている。今後は、学校・警

察などと吉岡町通学路交通安全プログラムで、対策を協議する。

問 町の基本計画にある基幹道路「漆原・総社線」の今後の整備計画は。

答 産業建設課長 準備は開始している。今後は都市計画法に基づく変更の手続きや道路詳細設計業務を実施。その後、用地調査業務、用地買収、工事着手と進める予定。

問 町に少ない公園。自治会主体の公園づくりは、限界にきていると思う。町として公園づくりに取り組むべき時では。

答 町長 現況と課題を整理し、公園広場は、緑地の基本構想を、今後策定していく。

護岸工事が待たれる駒寄川の川岸
付近の住民は台風19号で避難

ミニ解説 ※グレーチング
鉄でできた、金網状の側溝のふた。



いいじま まもる
飯島 衛 議員



録画映像は
こちらをCHECK

台風19号で 避難勧告が 出たが

答 新田地区で 3世帯8人が 避難した

問 台風19号で、漆原新田地域の避難状況は。

答 町長 新田地区95世帯263人に対して、社会体育館に3世帯8人が避難した。

問 日頃の訓練が生かされたのか。また、災害対策本部から自治会長への連絡は。

答 町民生活課長 日頃の訓練が生かされたのか確認できていない。自治会長と新田地区の地区代表に避難について電話連絡した。

問 避難場所が社会体育館になった理由は。

答 町民生活課長 集会所などの検討も

したが、収容人数が分散し、それに対応する職員の人数も必要となることを考慮し、95世帯263人の収容が可能な施設でなければと考えたためである。

問 視覚および聴覚の障害者や、寝たきりの状態の人、1人暮らしのお年寄りの避難勧告の対処は。

答 町民生活課長 職員が名簿対象者

を調べ、自治会長、地区代表に対象者の避難対応を行うよう連絡した。

問 1人暮らし老人緊急通報システムがあり、利用者は17人ということだが、視覚および聴覚の障害者の人たちも利用できるように拡充できないか。

答 健康福祉課長 対象者の拡大を検討。



建物の老朽化対策が求められる（児童館）

問 長野県では消防団が半鐘を鳴らしたとの報道があったが、地域限定で設置しては。

答 町民生活課長 あらゆる手段を考えながら災害時の情報発信に努めたい。

問 学校のICT化について、児童生徒数に対する教育用コンピュータの数が、県平均より少ないようだが。

答 教育長 教材として有効なソフトウェアの導入も整備していくことが大切と考えている。

答 教育長 コンピューター室を中心に整備しているが、各校が比較的大規模校で分母が大きくなるためと考えている。

問 今後の見通しは。

答 教育長 教材として有効なソフトウェアの導入も整備していくことが大切と考えている。

児童館の改築計画は

答 長寿命化計画を来年度中に策定

問 児童館の床や遊具、家具が傷んでいるが、改築の計画は。

答 町長 長寿命化計画を来年度中に策定する予定である。

問 デ・レイケ堰堤を船尾滝と一体に観光資源として活用しては。

答 産業建設課長 防災・減災効果がわかる看板を備えた駐車スペースを、林道事業の一環として整備する計画である。



こいけ はるお
小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

選挙公約の 実現などの 検証は

答 町長などの 給与カットなど

問

町長就任から8カ月。選挙公約でこれまでできなかったもの、あるいは道半ばであるもの、こんなことをやっていきたいというものがあると思うが、現時点の選挙公約の検証は。

答

町長 公約実現では、町長20%・副町長・教育長10%の給与減額。準備が整ってきているものは、吉中生オリンピックへのいざないで1000人分の当選、手話言語条例の本定例会での提案、子育て世代包括支援センターの開設、役場窓口対応改善に向けた総合案内の設置など。消防

防災総合訓練では、より高い危機管理を持った訓練ができた。他の事業は実現に向け準備・検討中。

問

町長の施政方針の中で、駒小体育館改築工事業がある。来年の卒業式・入学式に間に合わせるとスタートした。しかし、早々に工

答

町長 最初から延期ありきでは無かった。当初に工期内に仕上げるという話も聞いている。その後に突発的な内容などの

問

町長 最初から延期ありきでは無かった。当初に工期内に仕上げるという話も聞いている。その後に突発的な内容などの

町長 最初から延期ありきでは無かった。当初に工期内に仕上げるという話も聞いている。その後に突発的な内容などの

就学援助制度へ時代に即した対応を

答 基準・対象項目の見直しを検討

問

就学援助制度の利
用は全国平均が約
15%。吉岡町では5%

変更があったと理解している。

問

保育園・幼稚園・小学校・中学校の給食費を無料とする時期にきていると思うが、町長の決意は。

答

町長 町としても、そのような制度などを検討していきたいと考えている。

問

榛東村では、18歳程度まで、医療費の無料制度を来年度から実施する。全国へスでも3割くらいの自治体を実施している。吉岡町でも実施を。

答

町長 検討課題としたい。

対応が求められるが。

答

教育長 子どもたちちがしっかりと義務教育を受けて、力をつけて、社会的自立を図っていくことは教育の責任。すべての子どもたちに保証したい。就学援助申請のしやすさ、わかりやすさを早速改善。援助基準の見直し、支給対象項目の

追加も検討中。

問

町には福祉タクシー事業・相乗り推奨タクシー運賃等助成事業と2つがあるが、利用しやすいように改善を。

答

町長 両制度の一本化など、使い勝手のよい制度移行を検討中。



保育園・幼稚園・小学校・中学校の給食費無料化が望まれる



老朽化により移転計画が進んでいる(南分署)



議会広報常任委員が、「広聴」活動として、吉岡町で活躍している「ひと」にインタビューをします。

災害時の行動を家族で話し合って



渋川広域消防署南分署長

岸 賢一 さん

— 渋川広域消防署とは

岸さん 渋川広域消防本部・消防署は、1本部、1署4分署で構成され渋川市・吉岡町・榛東村を管轄。南分署は吉岡町・榛東村を管轄しています。

— どのようなお仕事をされているのですか。

岸さん 火災・救急・救助などの災害対応業務、火災など未然に防ぐための建物・消防設備の検査や防災訓練の指導を行っています。予防業務や、突然のけがや病気に対応するための、救急講習も重要な仕事です。

— 町では若い子育て世代が多く住んでいます。救急に対して、どのような心がけをしたら良いですか。

岸さん 小さな子どもの死亡原因の多くは「不慮の事故」。偶発的と考えられがちですが、子どもが置かれた環境を子どもの目線で見直すことで予防できます。

— 令和元年は各地で、台風

関連の被害が続きました。比較的災害が少ないと言われている吉岡町ですが、普段から防災に関して考えておくことは。

岸さん 町配布のハザードマップは、想定される災害種別ごとに、各地域の危険箇所が記載されています。これをもとに、災害時に「どのような行動を取るのか」を家族で話し合っておくことが大切です。

— 町の皆様に一言お願いします。

岸さん 12月から3月は、空気が乾燥し火災が発生しやすい時期です。「火の用心」はみんなの努め、火気の取り扱いには十分注意してください。また、住宅用火災報知器をまだ設置されていない家庭は、設置をお願いします。

議会を傍聴して

防災・防犯はワンチームで



こぐれ としゆき 木暮 俊之さん (漆原西)

いつも議会だよりは読んでいますが、今回初めて議会を傍聴させていただきました。言葉のニュアンスや空気感は議会だよりとは違い緊張感が伝わりました。最近ネットでの配信で見ることができませんが、私たちの住んでいる町の課題や方向性を知るのにとっても良い機会でした。一般質問は台風19号の後ということもあり、防災関連から始まり、防犯、教育関連への質問がありました。吉岡町は大きな被害はありません。

読んでいたが、防災対策の重要性を再認識し、さらに万全なものにするのとことで安心しました。防犯対策に関しても積極的に吉岡町は取り組んでいると感じました。各種ボランティア活動が盛んで地域や学校、警察、行政の連携がよく機能していると思います。それらがワンチームとなって安心安全で暮らしやすい街づくりのための議会を期待しています。



よしおか No.126



- 問1 本定例会で審議した議案はいくつでしょうか。
A. 10議案 B. 15議案 C. 25議案
- 問2 組織機構改革後の町長部局は、何課でしょう。
A. 3課 B. 6課 C. 9課
- 問3 一般質問は何人が行ったでしょう。
A. 6人 B. 7人 C. 8人

応募方法

- ・はがきに答えの記号（例1-A）、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。
- ・ご意見やご要望などもあわせてお寄せください。
「お便りコーナー」で紹介します。

応募先

〒370-3692

吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局

応募期限 3月1日消印有効

賞品 正解者の中から抽選で5人に、図書カードをプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解は1-B、2-C、3-Aでした。

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は3月上旬を予定しています。

会議は9時30分から始まります。

ぜひお越しください。

詳しい日程などは広報よしおか2月号に掲載されます。

また、町ホームページでもお知らせします。

私もひとこと

貢献して行きたい。
しが出来る様に社会
様が安心安全な暮ら
会資本の整備と、皆
の残された時間を社
造する時代が来る。人

全自動で立体空間を創
造する時代が来る。人
の残された時間を社
造する時代が来る。人
の残された時間を社
造する時代が来る。人

成し建設重機に保存し
て、その重機が衛星か
らの電波を受けて動く
ことで精度の良い作業
が迅速に行われている。
測量も現場監督のタブ
レット操作により光学
機器が自動で動いてい
る。近い将来、重機が



須田 和久さん
(漆原東)

新技術が進む建設業

全国町村議会議長会 創立70周年記念表彰

小池春雄議員が町村議会議員30年以上
在職者として、永年功労者表彰を受賞しま
した。



タブレット・スマートフォンの 取り決めについて

議員が会議中に、その会議に関係する例規
など資料を閲覧するために、タブレット・ス
martフォンを使用できるようにしました。
また、それに伴い、会議の目的外での使用
や、操作音を出すこと、通話・メール・SNS
投稿など外部と
の通信、無許可
での撮影・録画・
録音などを禁止
する取り決めを
決めました。



表紙の写真

年末の寒さが厳しくなるころ、小倉地区では乾
燥芋生産の最盛期を迎えます。榛名山麓の火山灰
の土壌、冷たく乾燥した空と穏やかな冬の太
陽に育まれた、昔ながらの手作りの味は、世代を
超えて受け継がれてきた地元の特産品です。素朴
な甘さは、お年寄りから子どもまで幅広い年齢層
に愛され、喜ばれています。



吉岡町 勤労者協和会 を紹介します



勤労者協和会は会長の坂田昭二さんを中心に、河川清掃・除草作業、河床の生態調査などの活動を行っています。また、年4回河川の水質調査を行い、毎年の推移を確認しています。

ソフトボール大会・バーベキュー・餅つき大会や、年に1回の県外視察研修も行っています。夏祭りなど地域の活動にも積極的に協力しています。地域の住民と交流する中で、新たに引越してきた若い世代の会員も増えています。

32年間の活動の結果、今では小魚やエビも確認できるようになりました。しかし、まだ汚

染数値の高い所があり、川面に泡が浮いていたり変な臭いがしたりする所もあります。私たちは、自分たちの住む町の川を見て、沢山の人が「住んでよかった」と思えるようにしていくこと。川上に住む住民として、この水を下流で利用する人たちのことを考えていかなければならないと思っています。

たくさんの人に活動主旨に賛同いただき、一緒に活動してくださることを願っています。

お問い合わせ：会長 坂田 昭二さん

090-5771-5623

編集後記

あけましておめでとうございます。本年も「よしおか議会だより」をよろしくお祈り致します。

編集委員6人のうち、私たち4人の新人議員も3回、編集を重ねてきました。私たちは、町民の目線で、読者皆様の読みやすい、議会の内容がわかりやすい記事を書けてまいりました。本年も議会を身近に感じてもらえるような議会だよりを目指していきます。

議会へのご意見・ご希望などありましたら、お寄せください。

(飯塚 憲治)

編集委員

委員長	富岡 大志
副委員長	飯塚 憲治
委員	村越 哲夫
	廣嶋 隆
	富岡 栄一
	小林 静弥